

社会で効率よくエネルギーが利用されるように、電化機器などの普及促進やお客さまへの省エネルギーのご提案に取り組んでいます。

給湯から出るCO₂を大幅に削減するエコキュートの普及につとめています。



●エコキュート

社会全体でもっとエネルギーが効率よく利用されるようになれば、CO₂削減に大きな効果が得られます。関西電力では電気の使用時のCO₂排出削減のため、ヒートポンプ技術を利用した省エネ給湯機エコキュートなどの高効率機器の普及につとめ、社会全体でのCO₂削減に取り組んでいます。

「環境家計簿」で環境にやさしい社会づくりへの情報発信を行っています。

関西電力では、お客さまのご家庭のCO₂排出量が簡単にわかる「環境家計簿」をホームページに掲載しています。省エネルギーの目安としていただくなど、環境にやさしい社会づくりへの情報発信を行っています。



●環境家計簿のサイト

環境負荷の少ない電気自動車の普及に向けて取り組んでいます。

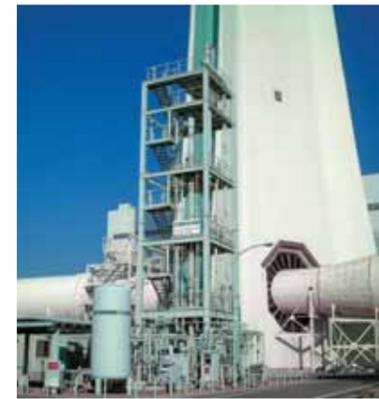


●開発中の電気自動車（試験車両）

電気自動車は走行中にCO₂や窒素酸化物などを排出せず、騒音も少ない次世代の自動車です。また、ガソリン車に比べ、燃費も1/4～1/10と高い省エネ効果が期待されています。関西電力は、電気自動車の実用化向け運転データの収集や評価を行うなど、環境負荷の少ない電気自動車の普及に向けた取り組みを続けています。

発電時のCO₂を分離・回収する独自技術の開発をすすめています。

1990年、関西電力は火力発電所の排ガスからCO₂を分離・回収する技術の開発に着手しました。まだ地球温暖化の問題も現在ほど注目され



●南港発電所排煙脱炭プラント

ていませんでしたが、今後、CO₂の排出削減が必要になるだろうとの判断でした。三菱重工業(株)とチームを組み、南港発電所に実験プラントを建設。本格的な研究をはじめた3年後に、CO₂を90%以上回収できるCO₂吸収液「KS-1」を開発しました。KS-1はそのすぐれた性質から、現在でも「世界最高のCO₂吸収液」という高い評価を得ています。その後も研究を重ね、より効率のよい吸収液の開発をすすめています。いまKS-1が採用されているのは、海外の肥料工場などCO₂の利用を目的とする工場がほとんどですが、いずれは火力発電所などの排ガス中のCO₂を直接回収し、地球温暖化防止に役立てることをめざしています。

温暖化に苦しむツバル国に太陽光発電設備を設置しました。

ツバル国は海拔が平均約2メートルで、温暖化などの影響で海面が上昇して、海に沈むといわれています。関西電力は「先進国にCO₂抑制を求めただけでなく、自ら温暖化防止に貢献したい」というツバル国の思いに応え、首都フナフチのサッカー場に出力40kWの太陽光発電設備を設置。同時に建設と運転のノウハウをツバル電力会社に伝えました。



●南太平洋の島国ツバル